

# 情報公開用文書

「胆管結石症例における DBE-ERCP 治療の手技成功因子の検討」へのご協力をお願い

## 1, 本研究の目的と概略

術後再建腸管を有する胆管結石症例の患者さんの診療に関する情報を調査し、DBE-ERCP 関連手技の成功因子を明らかにすることを目的とします。

## 2, 研究の方法

胆管結石の診断の元、「小腸ダブルバルーン内視鏡を用いた ERCP (DBE-ERCP)」の診療を施行された患者様に関して、年齢、性別、臨床経過に関する情報を収集します。氏名や住所などの個人情報収集いたしません。

## 3, 研究施設

徳島県立中央病院

## 4, 期間

調査期間 2013年1月1日から2023年7月31日まで

## 5, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記調査期間中に当院を受診し、術後再建腸管を有する総胆管結石症の診療を施行された患者様です。

## 6, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。

データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。

## 7, お問い合わせ先

研究責任者：徳島県立中央病院消化器内科 医長 村木翔

電話：088-631-7151

FAX：088-631-8354